

高女グローバル研修 in USA の初日、気持ちの良い青空のもと、出発式を行いました。校長先生から「安全と健康が第一であること、互いに譲り合う気持ちを忘れないこと、積極的に冒険心を持って挑戦すること」と、これから研修に向かう 41 名にメッセージを頂きました。生徒代表からは「アメリカの文化を知ること、勇気を持って会話をすること、目標を実現するために頑張ること」と力強い抱負を伝えました。

多くの保護者の方に見守られながらバスに乗り込み、向かったのは成田空港です。空港では、少し緊張した面持ちで、一人ひとりチェックイン、搭乗券の発券、セキュリティチェックと順調に進むことが出来ました。多くの観光客が行きかう空港は、普段生活をする群馬とは様子が異なります。ちょっとした異国の雰囲気を感じながら、飛行機は定刻通り成田を飛び立ちました。まずは経由地である NY のニューアーク空港に向かいます。

飛行機を降りて、最初に挑戦するのは入国審査です。どんな質問があるのか、どう答えれば良いのか、渡航前に学んだ会話をを使うチャンスが到来しました。飛行機の中では笑顔で過ごしていた一同にも、表情に陰りが出始めます。そんな時、入国審査を待つ列の最後尾に見慣れた顔の男性がご家族で現れました。気が付いたのは栗原先生と運動部の生徒さん達です。そこにいたのは横浜 DeNA のラミレス監督でした。多くの生徒さんの表情に笑顔が戻り始めます。思い切って話しかける生徒さんもいて、徐々に緊張がほぐれたようです。アメリカに到着して早々、嬉しいサプライズに遭遇することができました。

ニューアーク空港では、次に搭乗する飛行機に乗るまで、若干余裕がありました。搭乗時間まで自由時間を設けたのですが、ここはアメリカです。いつ不測の事態が起きるとも限りません。搭乗ゲートや出発時間が変わる可能性を意識して、「この次に何をしなければいけないのか」自分達で考えながら動いてもらうよう伝えて、自由時間となりました。解散して数十分が経過した頃、思った通り搭乗ゲートが変更になりました。しかし、さすが高女生です。あわてず騒がず、「ゲート変わりましたよね。新しい搭乗場所に行きます。」と話してくれる生徒は一人や二人ではありませんでした。指示待ちではなく、状況を判断して的確な行動が取れています。そして約束の集合時間には誰一人遅れることなく、全員が集まったのでした。

高崎を出発してから、約 24 時間が経過する頃、ようやく目的地のボストンに到着しました。今夜宿泊するのは、空港の近くにあるホテルです。ホテルのロビーで簡単なミーティングを行い、ホテル内のことは、ホテルのスタッフに相談する、と伝えました。早速、明日の朝食の時間を聞きに行く人、ルームキーが使えなくて相談に行く人、お水を売店で買う人、思い思いに過ごす様子が見られました。中には、ホテルのスタッフと会話をすることを研修の課題の一つとしている人もいたので、果敢に話しかけに行く姿もありました。

明日は語学学校に向かい、オリエンテーションやテスト、ボストン市内を散策するフリーダムトレイルに参加します。飛行機に乗ることや英語で買い物をすることに緊張をする場面が多々ありましたが、明日からはより自律的、自発的な行動が求められます。本日の様子からは、多くのことに挑戦してきっと乗り越えてくれるだろうという、高女生のしなやかな強さを感じました。以上、本日のご報告とさせていただきます。

出発式の様子：校長先生から



出発式の様子：生徒代表から



空港に向かう車内



成田空港：搭乗前の様子



経由地ニューアーク空港



ニューアーク空港でのお買い物



ボストンの空港



ホテルの様子

